

重度障害者の「教育」を考える

「重度障がい者社会支援フォーラム」を開催します

第2回 障がいと教育
重度障がい者社会支援フォーラム

基調講演・パネリスト

遠藤利彦氏 東京大学大学院教授
専門は発達心理学・感情心理学。
アタッチメント（親子・家族間の心の安定感）と子どもの社会情動的発達との関連性を主に研究。赤ちゃんが特別な愛着を示す毛布、タオル、ぬいぐるみ等の研究がきっかけでこの世界に入る。
主著『赤ちゃんの発達とアタッチメント』（ひとなる書房）他

2020 11/28 土 13:45開演（16:30終了）

①基調講演 14:00～15:00 生涯発達の礎をなすアタッチメント
②パネルディスカッション 15:10～16:30 アタッチメントから生まれる「かべ」がない社会
ZoomとYoutubeで同時配信【Zoom 80名募集 YouTube 無制限（どなたでも視聴できます）】

パネルディスカッション・パネリスト

最枝喜代治氏（東洋大学教授）
特別支援学校教員の後、国立特別支援教育総合研究所等の勤務を経て現職。現大学では「障害者福祉論」「特別支援教育基礎論」等の科目を担当。

石原次郎氏（東洋大学教授）
教育の現場で、学生との双方向授業、出欠・試験・成績評価等を行わず、個の成熟と自主性を伸ばすことを目的とし自由教育の徹底した実践を試みている。

ファシリテーター 木村直人氏
文部科学省入省後、内閣参事官、初等中等教育局参事官等を歴任し、現在は量子科学技術研究開発機構に勤務。障がい者も含め、だれもが幸せに生きていく社会を作るには自分たちが何をしたらいいか考える「ともにいきる（ともいき）」シリーズ開催。

申込みはこちらから
<https://aitunag.com/>
参加無料
お問い合わせ contact@aitunag.com

主催 重度障がい者社会支援フォーラム実行委員会
共催 一般社団法人グリーンノート/立教大学教育学部
科学研究、学術領域「トランスカルチャー状況下における障害者の権利」
後援 文部科学省/厚生労働省/埼玉県/埼玉県教育委員会

昨年5月、好評を得ました「重度障がい者社会支援フォーラム」を2020年今秋は、オンライン講義形式を活用し開催いたします。

コロナ禍の中、障がい者雇用は変化してきており、法定雇用率が上昇した状況でも、その働き方に違和感が生じてきています。

今回は就労前までの教育課程において、その原因となる、各人の工夫や努力を再考し、障がい者においても『幼児期の愛着形成』が働き方に影響があるのか、を考えるテーマで実施いたします。

東京大学大学院

遠藤利彦先生〔発達心理学・愛着研究者〕をお迎えし、支援学校の現場や海外の事例の紹介を交え、参加者からの質問に答えてまいります。よろしくお願いいたします。

催事名称 重度障がい者社会支援フォーラム

開催日時 2020年11月28日 土曜日 開場13:45～16:30 終了17:30

開催場所 立教大学池袋キャンパス（YouTube配信、会議システムZoom活用）

参加者等 Zoom参加者 80名(事前登録制)、YouTube(申込後・視聴可)

入場料等 無料

主 催 「重度障がい者社会支援フォーラム」実行委員会

(北澤/木村/牧野/岡原)

共 催 一般社団法人グリーンノート

立教大学教育学科 科研費研究、学術新領域

「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築

後 援 文部科学省 厚生労働省 埼玉県 埼玉県教育委員会

テーマ 「障がいと教育」

連絡先 一般社団法人グリーンノート

代 表 北澤裕美子

住 所 (本部) [埼玉県大里郡寄居町富田4066-18](#)

電 話 048-582-2044 直 通 090-5411-0818

mail contact@aitunag.com

<https://aitunag.com/>

Generated by [ぷれりりプレスリリース](#)

<https://www.prerele.com>